

新訂 2 版 1 刷用正誤表

－：下からの行数、《》：原文ではなく付随的な注記 誤植ではないが、わかりやすい表現に改めた箇所もある。

頁	行	誤	正
xiii	表 4	$A \supset B$ A は B の真部分集合として含む	A は B を真部分集合として含む
9	7	教える	数える
18	問 0.3 積	ps	pr
22	24	個数の集合	個数の値の集合
22	24	価格の集合	価格の値の集合
35	17	A^*	$A^*, {}^t A, {}^T A, A^t, A^T$
35	ADVICE 欄		《下から 9 行目までの注釈を p.36 に移す.》
36	ADVICE 欄		《補足》に対応する位置に、つぎの注釈を追加する.》 問 1.4 のように、マトリックス A の第 1 列を \mathbf{a}_1 と表す. 第 1 行を \mathbf{a}_1' と表す.
41	2.3 (2) (a)	対象線	対角線
41	2.3 (2) (d)	方針	方陣
48	-5	マトリックス	マトリックス A
48	-5	タテベクトル	タテベクトルまたはヨコベクトル
48	-5	どのタテベクトル	どのベクトル
48	-5	数)	数) する.
48	ADVICE 欄		《②に対応する位置に、つぎの注釈を追加する.》 $AC \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \quad CA \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix}$
48	-2	対角マトリックス	マトリックス
69	ADVICE 欄		《つぎの注釈を追加する.》 2.2.4 項 [進んだ探究] (未知数の個数) - (実質的な方程式の個数) = 任意の実数の個数.
71	ADVICE 欄		《つぎの注釈を追加する.》 2.2.4 項 [進んだ探究] (未知数の個数) - (実質的な方程式の個数) = 任意の実数の個数.
111			《図 1.39 の下の枠を若干下げる.》
111	図の下	単位量 ↑	単位量 ↑
111	図の下	単位量の形	単位量
112	ADVICE 欄		《「と表せる.」の下につぎの注釈を追加する.》 $\begin{vmatrix} a_1 & b_1 \\ a_2 & b_2 \end{vmatrix}$ と $\vec{e}_1 \wedge \vec{e}_2$ はどちらも実数だから、図 1.34 を見て分配法則で求めたように $\vec{e}_1 \wedge \vec{e}_2 \begin{vmatrix} a_1 & b_1 \\ a_2 & b_2 \end{vmatrix}$ と表すこともできる.
116	ADVICE 欄		《つぎの注釈を追加する.》 $\begin{vmatrix} a_1 & a_2 & a_3 \\ b_1 & b_2 & b_3 \\ c_1 & c_2 & c_3 \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} a_1 & b_1 & c_1 \\ a_2 & b_2 & c_2 \\ a_3 & b_3 & c_3 \end{vmatrix}$ であり、転置 マトリックスの行列式はもとのマトリックスの行列式と等しいことがわかる.
120	-5	AB' の最小値	$(AB')^2$ の最小値
144	ADVICE 欄		《図 2.15 の下に、つぎの注釈を追加する.》 座標 (a_1, a_2) ベクトル表示 $\begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \end{pmatrix}$ 基底と座標について 3.5.2 項
162	ADVICE 欄		《[注意 2] に対応する位置に、つぎの注釈を追加する.》 $2x_1 + 7x_2 = 3$ の読み方 平面内では直線の方程式であるが、空間では平面の方程式 $2x_1 + 7x_2 + 0x_3 = 3$ と読む.
203	例 5 (2ヶ所)	$S = \{\{a_n\} \forall a_n \in \mathbf{R}\}$	$S = \{\{a_n\} \forall n \in \mathbf{N}, a_n \in \mathbf{R}\}$

頁	行	誤	正																		
218	ADVICE 欄		《「 $\forall t \in \mathbf{R}$ は …」の上に、つぎの注釈を追加する。》 命題の正しい論理式ではないが、媒介変数 (自己診断 12.5 [注意 4]) を表すために「任意の実数 t 」の意味で $\forall t \in \mathbf{R}$ と略記することがある。																		
218	15.2 解説 (2)	$\forall t$	t																		
230	16.3 (1)	$\{\vec{x} \mid \vec{x} = \vec{d}t, \forall t \in \mathbf{R}\}$	$\{\vec{x} \mid \exists t \in \mathbf{R}, \vec{x} = \vec{d}t\}$																		
230	ADVICE 欄	$\forall t \in \mathbf{R}$	$\exists t \in \mathbf{R}$																		
230	ADVICE 欄	任意の実数 t に対して	… をみたく実数 t が存在する																		
230	ADVICE 欄	\forall は, arbitrary (任意の)	\exists は, exists (存在する)																		
230	ADVICE 欄	A	E																		
230	ADVICE 欄 (2ヶ所)	\forall	\exists																		
230	ADVICE 欄	$\forall t$	$\exists t$																		
230	ADVICE 欄	$\forall t$	$\exists t$																		
234	表 5.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>都市から</th> <th>郊外から</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>都市へ</th> <td>0.90</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <th>郊外へ</th> <td>0.10</td> <td>0.80</td> </tr> </tbody> </table>		都市から	郊外から	都市へ	0.90	0.20	郊外へ	0.10	0.80	<table border="1"> <thead> <tr> <th>移動</th> <th>都市から</th> <th>郊外から</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>都市へ</th> <td>0.90</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <th>郊外へ</th> <td>0.10</td> <td>0.80</td> </tr> </tbody> </table>	移動	都市から	郊外から	都市へ	0.90	0.20	郊外へ	0.10	0.80
	都市から	郊外から																			
都市へ	0.90	0.20																			
郊外へ	0.10	0.80																			
移動	都市から	郊外から																			
都市へ	0.90	0.20																			
郊外へ	0.10	0.80																			
309	ADVICE 欄	転置マトリックス	対角マトリックス																		
358	索引		《つぎの用語を追加する。》 対称マトリックス symmetric matrix 305																		